ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成２５年３月８日

各　位

会 社 名　　株式会社プロネクサス
代表者名　　代表取締役社長　上野剛史
（コード番号　７８９３　東証第一部）
問合せ先　取締役執行役員社長室長 大和田雅博
電話番号　　０３－５７７７－３１４５

英国ＩＲ協会「ＩＲベストプラクティス・ガイドライン 2013」日本語版の発刊について

株式会社プロネクサスは、日本の上場企業と株主・投資家のコミュニケーションの質的向上に貢献する取り組みを進めています。その一環として、英国ＩＲ協会の「ＩＲベストプラクティス・ガイドライン」（以下、「本ガイドライン」）日本語版の作成に参画し、このたび 2013 年版が発刊されましたので、お知らせいたします。

記

１．本ガイドライン日本語版作成の背景と当社の参画目的

株主・投資家向けのアニュアルレポートやウェブサイトは、誰でも入手・アクセスできるＩＲツールです。しかし、これと決まった書式やテンプレートがあるわけではありません。そうした中、英国ＩＲ協会はこれらのＩＲツールなどの「望ましい姿」の指針を定めた本ガイドラインを毎年作成・更新しており、英国を中心とした欧州の多くの国々において活用されてきた実績があります。

プロネクサスは、本ガイドライン日本語版の制作ワーキング・グループである「Project Future Proof」（以下、「ＰＦＰ」）の活動主旨に賛同し、３年前より参画してまいりました。

プロネクサスは本ガイドラインをよりわかりやすい形でお客様に提供することにより、お客様のＩＲ活動の一助となること、本ガイドラインをベースとしたより良いＩＲのご提案をしていくことを参画の目的としています。

２．本ガイドライン日本語版の特長

（１）「ウェブサイト」「アニュアルレポート」「ソーシャルメディア」「ＩＲプレゼンテーション」の指針を提供

本ガイドラインでは、ＩＲ活動の重要な要素である「ウェブサイト」「アニュアルレポート」「ソーシャルメディア」「ＩＲプレゼンテーション」の４分野について指針を提供しています。これらの指針は、オンライン版アニュアルレポートに関する具体的なガイダンスなど、最新の技術・トレンドに対応しています。

（２）日本国内の上場企業の実例に基づいた具体例を明示

ＩＲ担当者の皆様に明確なイメージを持っていただくため、日本国内の上場企業の好事例等をガイドラインと併せて紹介しています。過年度版に加えてより多くの情報を提供するべく、2013 年版では、最新のウェブサイトや冊子の実例を追加いたしました。

３．本ガイドライン 2012 年版からの主な変更点

近年、ソーシャルメディアが世界的に普及し、コーポレートコミュニケーションでも活用されるようになってきたことを受けて、2013 年度版より「ソーシャルメディアガイドライン」の章が新設されました。本章では、ソーシャルメディアを活用するにあたっての事前の検討から継続的な運用までにおける指針を定めています。

４．本ガイドラインのご提供

プロネクサスは、営業担当を通じ、ご要望のあるお客様を対象に本ガイドラインを無償で提供するほか、ワーキング・グループ「ＰＦＰ」メンバー等によるセミナーの開催を予定しております。

■ワーキング・グループ「ＰＦＰ」のメンバー

埼玉学園大学教授　米山徹幸氏

株式会社ファイブ・シーズ　越智義和氏

株式会社ラッセル・コミュニケーションズ　デビッド・ラッセル氏

株式会社プロネクサス　小澤則夫

■英国ＩＲ協会について

英国ロンドンを拠点とする欧州最大のＩＲ団体。会員は英国・ヨーロッパを中心に約 600。ＩＲに関する提言、ＩＲ担当者向け教育活動、キャリア支援などを行う。アニュアルレポートや企業ウェブサイトを対象に本ガイドラインをベースとした「ＩＲベストプラクティス賞」を年１回開催し、優秀なＩＲ活動を実践する企業を表彰している。

■本ガイドラインに関する問い合わせ先

株式会社プロネクサス　ＩＲ事業部　山田・前川

Tel.03-5777-3609

（ご参考）本ガイドラインの表紙および本文





以　上